

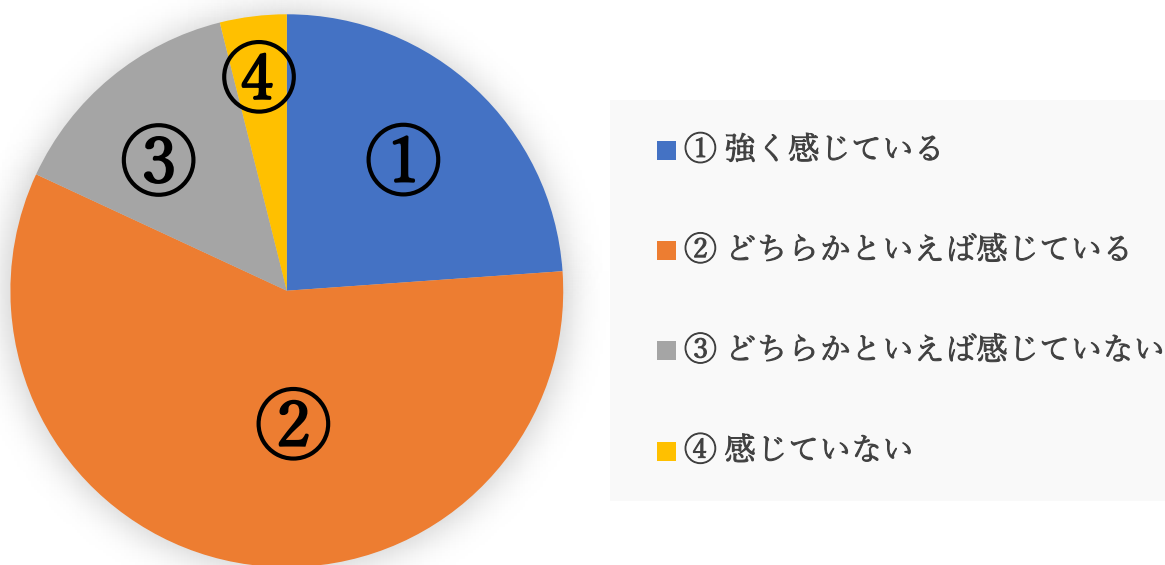
発表会、お疲れ様でした！

12月15日（火）4校時、第1アリーナにて、1年生B～R組は初めてのポスター発表会に参加しました。今回は「地域の魅力発見」を大テーマに、各班で調査対象を決め、7月13日（月）には校外探索を全員で行い、二学期にも各班で調査・取材に励んだ成果を1枚のポスターにまとめました。

当日は、2,3年生及び全職員、外部からの参観者もいる中で、緊張気味の生徒もいましたが、堂々と発表できた班が多く、先輩からの質問にもしっかり答えようとする姿が多く見られました。

意識調査の結果は…

Qあなたはこの地域に魅力を感じていますか？



上の結果は、発表会直後に行ったアンケート結果です。入学時（4月13日）に行った同じ内容の調査と、比較すると、次のようになります。

	【4月13日調査時】	【12月15日調査時】
①強く感じている	7.1% (12人)	23.9% (37人)
②どちらかといえば感じている	60.0% (102人)	58.1% (90人)
③どちらかといえば感じていない	27.6% (47人)	14.2% (22人)
④感じていない	5.3% (9人)	3.9% (6人)
※対象1年BCDNR組171名	回答数170 回答率99.4%	回答数155 回答率90.6%

4月調査時に比べ、肯定的回答（①または②を回答した人）の割合が大きく向上し、8割を超えました。次に紹介するのは、4月調査時に否定的回答（③または④を回答）を選んだものの、今回「①または②」を選んだ人の理由です。

- 何も無いが、何も無いところに魅力を感じる。自然が織りなす四季折々の景色。（D組 4月④→12月②）
- 今回の発表会を通して地域の魅力を改めて発見することができたから。（B組 4月③→12月②）
- 全クラスが課題研究をすることが出来たということは、それだけ魅力があるということだと思ったからです。（R組 4月③→12月②）
- 今回たくさんの発表を聞いてみて、自分では気づくことが出来なかった地域の魅力を知ることができたからです。（N組 4月③→12月②）

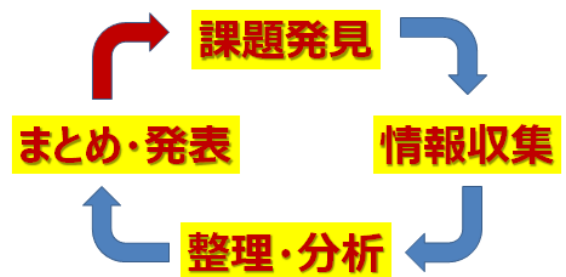
紙面の都合上、すべてを紹介することはできませんが、挙げられた理由に共通するのは「今回の活動を通して」という点です。それでは、皆さんは一学期・二学期を通して、どのような活動を経験したのか、もう一度確認します。

「探究サイクル」の確認！

右の図は、4月13日（月）の授業で示した「探究サイクル」です。皆さんは、4月以降、このサイクルに沿って活動してきました。特に、今回の意識調査の結果に大きな影響を与えたのは、次の点だと考えられます。

- 自分達で調査対象を決めたこと
- 実際に現地に足を運び、取材したこと
- 1人ではなく、グループで協働したこと
- 調査内容をまとめて、人前で発表したこと

★「探究サイクル」とは？



まず、他人から強制されたことではなく、自分達で調べる対象を決めました。これにより「自分達が学ぶ！」という主体性が高まりました。さらに、インターネットに頼ることなく、実際に現地に足を運んで取材をしたことで、「見知らぬ大人」とコミュニケーションをとる経験にもなり、取材を通して「新たな発見」が心に強く刻まれたはずです。また、自分1人では気づけないこと・できないことも、班のメンバーと協働して行うことで気づいたり、できたりしたことも多かったと思います。そして、重要なのは「調べて終わり」ではなく、まとめて、人前で発表したことです。調べた内容を、1枚のポスターにしたり、話す順序を考えたりする中で、自分達の調査内容をさらに深く理解できたと思います。さらに、当日、参観者から質問を受けたことで、今まで気づかなかったことを指摘され、視野が広がった人もいたでしょう。

来年度、NR組は学科の専門に応じた内容で、普通科は北秋田市の地域課題に対して、それぞれ課題研究を行います。扱うテーマは変わっても、1年次に経験したこのサイクルに沿って行うことに変わりはありません。今年度以上の成果が得られることを期待しています！